

職種	校種	6. 職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	
1 教員	小学校	学校の働き方について、上から降りてくる仕事量が多すぎるため、現場の工夫でどうにかなる問題ではないと思います。まずは、仕事の精選を行うべきです。一台端末、外国語、道徳の教科化...増やすだけ増やして、あとは現場任せになっています。もういっぱいいっぱいです。ぜひ、ビルドアップではなく、スクラップアップビルドを行って欲しいです。	匿名希望
2 教員	小学校	人が完全に足りない。産休・育休・病休の職員がいても、代替要員が来ません。人が確保できないのが理由です。これでは、権利として当然の休暇をとることができません。休暇をとるがわも、職場側も、気持ちよく過ごせるようにしてほしいです。このような人がいない状態で働き方改革もなにもありません。	匿名希望
3 教員	小学校	必須作業量が圧倒的に多すぎる。子どものために何もできない。授業をこたわたり、子ども一人一人に合わせた指導をしたい。	地面
4 教員	小学校	私たちの勤務は、通常は8:30からですが、子どもたちは8:00に登校してきます。子どもたちは15:30に下校しますが、勤務終了までの17:00までは90分です。ちなみに休憩なしです。膨大な学校業務を90分で終わらせることは難しく、常に残業が持ち帰りです。しかし、私たちに求められることは肥大しています。今の政策では、根本的解決に至ることは難しいです。本気で何をなくしていくかを考える必要があります。	匿名希望
5 教員	高校	本校は部活の強豪校であり、顧問の先生は土日両方部活、平日に部活の休みをとっている現状です。ガイドラインで土日のどちらかを休みとか決まりましたが、保護者の理解は得られないと思います。よくよく考えたら仕事でもないことを管理職からお願いされ、自分の子供よりも他人の子供の相手をしていることに違和感を感じます。また、観点別評価によってさらに忙しくなりました。学校現場の経験がない方にはわからないと思います。	ブラック根絶部隊
6 教員	中学校	多くの校務分掌、保護者対応、部活指導日々の生徒指導、教材準備、出張書ききれない仕事にもう限界を感じています。体調を崩す職員続出で現場がまわりません。至急の定数改定を。	匿名希望
7 養護教員	小学校	業務内容が多い。保護者や子ども対応に時間や労力がかかるが、理解されにくい。	匿名希望
8 教員	中学校	PTA活動がコロナ前と変わらず、精選が図れていない。市、県などの活動もまた復活して負担感が大きい。PTA会長や学校担当者への土日や夜の参加依頼が多く負担である。	匿名希望
9 教員	小学校	質上げを望むが、それ以上に時間のゆとりと心の余裕、安らぎが欲しい。給特法を見直ししていくことも急務だが、総勤務時間の削減を強く望む。将来の担い手を増やすためにも、現場の効率化を求めのではなく、本来の教える仕事がしたい！	しもていー
10 教員	小学校	働き方改革といっているけれど、実際に自分たちがしなければならぬ業務が多くあり、どこが働き方改革なのかわからない。業務が多い割には、給与が少なく感じている。一般企業に比べると残業代がない。学校で残業をしても、家で持ち帰って仕事をしている方にはどう思うのかと思う。定額働かせ放題だと思っていないだろうか。	さと
11 教員	小学校	仕事量がどう見ても勤務時間に終わる量になっていません。出退勤の報告も管理職から言われて訂正して入力したこともありましたが、今年度も仕事が終わらず、家の事もしたいいけないため、睡眠時間は1日4時間ほどとなっています。このままでは、本当にいつか死んでしまいます。	匿名希望
12 教員	小学校	勤務時間内に仕事は終わりません。子供のための仕事なら苦になりません。しかし毎年各種アンケート等の事務仕事が増えています。子供との授業づくりの時間を確保したいです。	匿名希望
13 教員	小学校	新卒です。仕事量が多すぎて定時で帰れていません。しかし管理職からは早く帰りなと言われます。逆にそれがストレスになっています。仕事量をもっと減るといいなと思います。	匿名希望
14 教員	小学校	英語、ICTなど、新しい業務が増え、大変な子どもが増え、早く帰りたいでも帰れない実態がずっと続いています。定数を増やして欲しいのはもちろんなのですが、定数を増やしてもこの後人口が減るので増やせない事情もわかります。しかし、あまりに教員不足がひどいように思います。長い目でどれくらい増やすことができるのか、話をさせていただいて何らかの対応をお願いしたいです。	ネオネオ
15 教員	小学校	減る仕事がない一方でやるべき仕事が増え続けています。人手も足りない中で、勤務時間内にすべてを終えることは難しいです。どこかで仕事を減らさなければ、働き方改革という名前だけが一人歩きしているだけで業務時間の改善は難しいと思います。	匿名希望
16 教員	小学校	小学校勤務なので、基本空き時間がなく、空き時間の間では児童のトラブルの対応でたいたい潰れてしまう。会計の仕事など、校務分掌をしていたら、自分のクラスの教材研究ができず、結局持ち帰って仕事したり、休日に出てきたりして仕事をしなくてはならない。	匿名希望
17 教員	特別支援学	働き方改革は教員の意識改革も必要。自分達で仕事を増やさないように、本当に必要な仕事は何なのか本質を見極めなければならないと思う。心身を病む直前まで頑張ってくれた講師の方が先日辞めました。代わりの講師は見つかったらしいが、県教委の手続きが遅くて雇用できないとのこと。結局、その方が勤務できるのは夏休み明けのこと。その間、他の学年から人員を出して対応するしかないが、それで良いのか？	まーさん
18 教員	小学校	教材研究をする時間は勤務内でとることはできず、持ち帰り仕事をすることが当たり前になっているため、家に帰って休まることがない。また、休憩時間になっても結局休憩とは言えない状況になっており、自分自身も休憩時間という感覚がない事が問題だと感じる。	匿名希望
19 教員	小学校	勤務時間は8時30分からですが、子どもの登校は8時からです。登校後、ケガ等があったらいけないので、勤務時間前に職場に着くようにしています。すると必ず1時間近くは超過勤務です。また、仕事量（特に調査系の同じような書類）が多すぎて、授業終了後では終わりません。子どもに関わる仕事なら納得いきますが、納得いかない調査が多すぎます。仕事を子どもに関わるものに精選してもらいたいです。	匿名希望
20 教員	小学校	育児短時間勤務からのフルへ復帰しました。家庭との両立を目標にしていますが、仕事量が多すぎて早くにはとてもじゃないけど帰れません。保護者の方に「こんな時間まで仕事しているんですか？」と言われることもあります。私たちの仕事からすると19時半はまだまだ遅い方ではありません。この感覚は一般企業ではありえませんが、児童がいる時間と放課後の時間、まるで複数の職種をしているようです。	匿名希望